

智頭町 智頭町 森林組合だより

令和4年1月 No.30



JForest

もくじ ☆☆☆☆ CONTENTS

1. 新年のごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (1)
2. 「モザイク皆伐」の取り組み状況・・・・・・・・ (2)
3. 市況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (2)
4. 鳥取県・智頭町・森林組合との意見交換会・・・・ (3)
5. 鳥取県豚熱経口ワクチン散布等調査の実施・・・・ (3)
6. 安全パトロールの実施・・・・・・・・・・・・・・・・ (4)
7. デュアルシステム・インターンシップ・・・・・・ (4)
8. ウッドショックによる新たな製品の動向・・・・ (5)
9. 智頭杉木製ベンチ書写山へ・・・・・・・・・・ (5)
10. 智頭町へ要望書の提出について・・・・・・・・ (6)
11. 鳥取県常例検査について・・・・・・・・・・ (6)
12. 理事会報告について・・・・・・・・・・・・・・・・ (6)
13. ふるさと納税の取り組み・・・・・・・・・・ (7)
14. 杉神社例祭の開催について・・・・・・・・・・ (7)
15. 消防訓練の実施について・・・・・・・・・・ (8)
16. 地区座談会のお知らせ・・・・・・・・・・ (8)
17. 組合員名義変更のお願い・・・・・・・・・・ (8)

☎689-1402 智頭町森林組合
鳥取県八頭郡智頭町大字智頭 1918 番地
TEL(0858)75-0075(代) FAX(0858)75-1192
木材加工センター
TEL(0858)75-0104 FAX(0858)75-1446



新年のごあいさつ

新年、あけましておめでとうございます。

2021年（令和3年）も終わり新しい年を迎え、日頃より、組合事業には、ご理解とご協力を頂きありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大の中、昨年春よりウッドショック風による、製品、丸太の高騰で特に外材の高騰とともに入荷困難の為、住宅メーカーの受注が計画通り進まない中、全国的影響が出てきて、その影響が国内の製品、丸太も値上がり現在では、値は戻しているものの全体では35%~40%高となっている中、加工センターも月に平均2棟、メーカーからの注文の対応をしています。

組合事業につきましては、現業職員の人手不足や山間奥地の作業が多くなってきた事で、思うように進まないところですが、組合員様の山を預かっている責務で努力しているところです。

10月26日（火）には、町と消防、防災、災害対応の相互協力に関する協定締結に基づき、町より貸与したドローンをライセンスの取得した職員2名が操作指導を受けました。

11月13日（土）秋の、山の神の日に合わせて杉神社奉賛会主催で、杉神社例祭を関係者一同で執り行いました。今後の組合事業では担い手不足の解消や山林の機能回復・町づくりも視野に入れて智頭町と連携して取り組みたいと思います。

❁ 終わりにあたり組合員様の益々のご繁栄とご健康をお祈りし役職員一丸となって智頭林業の発展のため引き続き努力を重ねて参りたいと思います。

代表理事組合長 大谷 豪太郎

 SGEC <small>JAFTA-058 JAFTA-W144</small>	認証材を使おう <small>環境に配慮した森づくり</small>	 智頭町森林組合 (0858)75-0075 <small>製材品は木材加工センター</small>
---	--	--



「モザイク皆伐」の取り組み状況

春先より、智頭町大字早瀬地内の森林整備センター分収造林契約地で、育成複層林誘導伐（モザイク皆伐）を水源林造成事業で実施しています。

今回の施業では、51～53年生のスギ、ヒノキ、アカマツの人工林約5haの皆伐を実施し、1,000m³余りの原木を山から出材しました。年内には、地拵え、獣害防止柵の設置、植栽までの完了となる見込みです。皆伐後は、スギ、ヒノキに加えて、新たな取り組みとして、成長が早く、比較的育林コストのかからないカラマツの植栽を行います。当組合では、水源林造成事業での皆伐施業は初めてという事で、近年行っている搬出間伐とは違った苦勞もありましたが、今後新たな山づくりに活かしていければと考えています。

【皆伐前】



【皆伐後】



市況について

昨年度はコロナの影響で、製品需要が減少し原木価格が低迷しましたが、今年度はウッドショックの関係で輸入材が減少し、それに代わる製品需要が高まり、原木も高値で取引されています。杉材につきましては少し価格が回復してきましたが、ヒノキ材につきましては適寸の柱材、土台等を中心に引き合いがあり、市場価格でm³当り4万円台という高値で取引されていましたが、最近では、落ち着いた相場になっています。また杉中目材は引き合いがあり、少し高値（15,000～16,000円/m³）で取引されています。今後は、伐採時期がよくなるとともに、冬季にむけて各製材業者の集荷もあり、価格は横ばいで推移すると思います。また、森林組合は現在搬出間伐を主として施業を行っていますが、今後は皆伐再造林事業にも取り組み、循環型の森林づくりも行っていきたいと思っています。



石谷林業での特市(10月18日開催)

鳥取県・智頭町・森林組合との意見交換会



「鳥取県との意見交換会」

令和3年11月1日に鳥取県森林・林業振興局、東部農林事務所八頭事務所との意見交換会を組合研修室にて開催致しました。

事業の取り組みとして、主伐・再生林の推進、間伐材搬出の推進、路網整備に対する支援、スマート林業の推進など多岐にわたり、これからの林業施策について、意見を交わしました。

また、次年度要望として、引続き森林整備の推進や人材育成、後継者の推進、県産材の利用促進に対する支援などを要望と致しました。

「智頭町との意見交換会」

令和3年11月5日に智頭町山村再生課との意見交換会を組合研修室にて、開催致しました。

事業の取り組みとして、本年度の町関連事業で行っている進捗状況やその検証について、意見を交わしました。

また、令和4年度要望について、引続き智頭材搬出支援など4項目と地域材未利用活用推進事業(仮称)の新規事業1項目を予算要望と致しました。

くわえて、これからの新しい林業ビジョンや智頭林業の全般について、木材の動向、スマート林業、運営上の課題点など意見を交わしました。

本年度は、コロナ禍の影響を鑑み、意見交換会を別日に行いましたが、これからの林業をより良いものにしていくための議論をそれぞれ深めることが出来ました。



鳥取県豚熱経口ワクチン散布等調査の実施

令和3年9月下旬より鳥取県豚熱幹線拡大防止対策協議会より業務委託を受け、豚熱経口ワクチンの散布等を岡山県との県境付近で行いました。

これは、関東、関西圏で確認された野生イノシシの感染が全国に拡大していることを受け、感染拡大及び環境中のウイルス濃度低減、さらに飼養豚への感染防止を図るために行っています。



近隣では、兵庫県で野生イノシシの感染が確認されております。

豚熱は、豚、イノシシの病気であり、人に感染することはありません。

なお、野生イノシシや他の野生生物がワクチンを摂取しても肉の安全性に影響がないと、国の食品安全委員会で評価されていますので、ご安心ください。

安全パトロールの実施（林業災害防止協会）



現場作業でのパトロール

鳥取県林業災害防止連絡協議会による林業安全パトロールが、令和3年11月2日（火）に実施され、林業関係者並びに労働基準監督署の皆様が参加されました。

午後の部では、智頭町大字早瀬地内の森林整備センター分収造林契約地のシカ柵の設置作業の現場で実施されました。

林業作業現場では、例年死傷事故や災害が多発しており、その要因を早期に発見し、改善することにより、作業現場の安全確保、安心して働ける労働環境を実現することを目的とし、安全パトロールは実施されています。

この現場では、林内の移動中の災害、転倒災害に特に注意するといった内容が話し合われ、作業現場を確認しました。

講評では、高所作業における安全対策の指導等、日頃からの安全体制の意識付けなどのコメントをいただきました。

デュアルシステム・インターンシップ

本年度も智頭農林高等学校から要請を受け、8月2日から12日の8日間森林科学科3年生3名と、10月11日から15日までの5日間2年生2名が職場体験を行いました。

研修は、大径木の伐採、集材搬出作業の見学、チェーンソーを使用して玉切り、切り直し、枝落とし作業を行いました。また、天候の悪い日には、木材加工センターで椅子の製作作業を行いました。

生徒の感想として、現場での緊張感を間近で感じました。学校で学んでいることよりもレベルが高かくて戸惑う事も有りました。楽しかったが、体力、集中力、正確な行動が必要だと思いました。夕方には、体力がなくなり疲れてしまいました。社会に出た時には周りの人たちと協力しながら仕事に取り組みたい。また、この研修で得たことを進路に役立てたいとの事でした。

この研修を参考にして、卒業時の進路は林業関係の仕事にぜひ就職してもらいたいです。



デュアルシステム



インターンシップ

ウッドショックによる新たな製品動向

新型コロナウイルス感染拡大により木材業界は低迷し見通しの立たない不安を抱えましたが、今年3月頃から住宅の柱や梁(はり)、土台などに使う木材の需要がひっ迫して木材の不足により価格が高騰してきました。アメリカ、中国では莫大な財政、低金利政策により世界的に需給バランスが大きく崩れ輸入材が日本に入ってこなくなり、またコンテナ不足も追い打ちをかけました。

このような状況で、加工センターの注文は構造材、下地材、羽柄材を中心に増えています。ハウスメーカーからは輸入材から国産材への利用にシフトが進んでいます。地域材の魅力的な利用の造作材(鴨居、敷居、長押等)は建築仕様の变化で少なくなっていますが、県産材使用に「とっとり住まいる事業」の補助金活用にも協力しています。

今後も新型コロナウイルス感染の終息が見え始めましたが、建築需要は続くと予測し製品の品質向上に努め、皆様のご利用をお願いします。



構造材建方



ハウス全景

智頭杉木製ベンチ書写山へ

10月27日に兵庫県姫路市の書写山にある圓教寺(えんぎょうじ)に智頭杉の無垢材を使用した木製ベンチ150脚を納品しました。

限られた期間での製作でしたが、砂丘の風紋をあしらった「浮造り」加工が施された折りたたみ式ベンチが完成しました。

11月13日には圓教寺にてもみじ祭りが催され、これまで数々の映画の舞台となった常行堂の会場一面に木製ベンチが並べられました。訪れた皆さんがベンチに腰をかけられ、和太鼓の演奏などを楽しみました。



納品された圓教寺



折りたたみ式ベンチ



木製ベンチを引渡

智頭町へ要望書提出

去る11月11日、令和4年度林業予算の要望書を大谷代表理事組合長、河村総務副委員長、前橋事業委員長、青木加工委員長の方々に金児智頭町長へ提出しました。町長より厳しい予算の中であるが森林・林業には十分に応えていきたいと期待あるお言葉を頂きました。



町長室にて要望書の提出

鳥取県常例検査について

令和3年11月9日～11日までの3日間、鳥取県総務部行政監察・法人指導課より2名の検査員の方に、組合員関係や事業関係など組合事業全体について検査をしていただきました。最終日には、監事3名と職員で検査員より講評を聞きました。

組合員の皆様が理解し、利用しやすい組合になるよう、また従業員が働きやすい環境になるよう助言をいただきましたので、これから改善していきたいと思えます。

理事会開催報告

第2回理事会（7月20日）出席率100%

【協議事項】

- ① 6月末残高試算表について
- ② 固定資産（車輛運搬具）の処分と取得（機械装置）について
- ③ 役員賠償責任保険の加入について
- ④ 鳥取木材協同組合への加入と出資金について
- ⑤ ウッドショック対策臨時交付金について
- ⑥ 夏季手当の支給について

第3回理事会（10月29日）出席率95%

【協議事項】

- ① 令和3年度上半期の仮決算について
- ② 令和3年度下半期の計画について
- ③ 固定資産の取得について
- ④ リース物件の契約について
- ⑤ 令和4年度林業予算に関する要望について
- ⑥ 職員の退職給付金について



10月29日理事会の様子

ふるさと納税の取り組み

今年度より智頭町ふるさと納税返礼品として、「無垢デスク」を製作しています。材料には智頭杉を使用し、ハギ合わせ材で1台ごとに色合いや木目が異なるデザインとなっています。また、様々な用途で使えるよう、大きすぎず小さすぎず丁度良いサイズ（横幅120cm、奥行き50cm）で、折りたたみができるところも好評です。

これまで、東京・神奈川・埼玉など主に関東在住の方から多く注文をいただき返礼品として贈られました。

返礼品が届いた方からは、「子どもが喜んで毎日利用しています」「木の香りが心地いい」「シンプルで折りたためる机が嬉しい」などといった感想をいただいています。

※ふるさと納税とは、出身地や応援したい自治体に寄付をし、その返礼品として地域の名産品が贈られる制度です。



無垢デスク

杉神社例祭の開催

新型コロナウイルス感染拡大、30年7月豪雨災害等で控えていた例祭を11月13日おごそかに執り行いました。杉の精霊を祀る御神体に森林・林業の発展と智頭杉の繁栄を祈り玉串を捧げました。また旧暦で山の神の日でもありましたので、安全祈願も奉納しました。参拝者の方から、これからも毎年開催すべきと要望がありました。



御神体



関係者での神事



奉賛会長である金児町長よりあいさつ

智頭町森林組合消防訓練の実施

令和3年11月24日（水）に森林組合で消防訓練を実施しました。

役職員15名が参加し、通報訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練を行いました。

通報訓練では、通報の際のやり取りを台本に沿って行いました。

避難誘導訓練では、実際に警報器を鳴らし、どのような音が鳴るのかを確認したり、避難口を確認しました。

初期消火訓練では、訓練用の水消火器を用い、消火器の使い方の確認や的に向けて放水しました。

最後に事業部次長より総評があり、無事、訓練を終了しました。



水消火器での消火訓練

警報機の確認



地区座談会のお知らせ

新春恒例の地区座談会を次の日程で開催します。

当日は、森林組合の業務状況、新年度の取組、県・町の林業施策等の説明及び意見交換をさせていただきます。

お誘い合わせの上、多くの組合員の皆様のご参加をお待ちしております。

（ご参加の方には粗品を準備致しております。）

尚、今後新型コロナウイルス感染拡大により変更、中止もあります。

日時	地区	場所
令和4年2月5日（土） 9:30～	土師	土師地区公民館2階（旧土師小学校）
令和4年2月5日（土） 13:30～	富沢	富沢コミュニティセンター
令和4年2月18日（金） 13:30～	智頭	智頭町保健・医療・福祉総合センター ほのぼの「ひだまりホール」
令和4年2月19日（土） 9:30～	山郷	山郷地区公民館（旧山郷小学校）
令和4年2月19日（土） 13:30～	山形	山形地区公民館2階

*那岐地区は改装工事のため、各集落で開催予定です。推進員を通じてご連絡します。

組合員の名義変更のお願い

組合名義人の死亡等による変更が発生した場合には、手続きが必要です。届出用紙が組合にありますので、必要な方はご一報ください。

（組合員の届出は2年以内をお願いいたします。）



～編集後記～

あけましておめでとうございます。昨年は組合員の皆様のご愛顧に支えられた1年でした。本年も引き続きご愛顧のほど、よろしくお願い致します。

聲高